

# 第66期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



THE BEGINNING



Sun Messe

サンメッセ株式会社

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第66期上半期(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の決算を行いましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成22年12月



代表取締役会長

田中良孝



代表取締役社長

田中義一

## CONTENTS

株主の皆様へ	1	製品部門別の概況	8
営業の概況	2	株式の情報	9
Sun Messe News	3	会社の概況	10
財務の状況	5	株主メモ	10
業績の推移	7		

創業時の精神に立ち返り、新市場や新規顧客の開拓、更なる深耕営業を推進し、生産性向上とコスト低減により収益の改善に努めてまいります。

売上高	65億1百万円
営業損失	88百万円
経常損失	43百万円
中間純損失	81百万円

当中間期におけるわが国の経済は、企業の景況感は緩やかな回復基調にあるものの、厳しい雇用環境やデフレ状況は続いており、また、海外経済の減速懸念や長期化する円高、株安の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましても、紙媒体から電子媒体への移行に伴う需要の減少が進む中、企業の経費削減や広告宣伝費の抑制が続くとともに、同業者間の受注競争の激化など、厳しい経営環境が続きました。

このような事業環境の中で当社は、「創業75周年『原点回帰の年』」を会社の年度方針として、改めて創業時の精神に立ち返り、新市場や新規顧客の開拓、更なる深耕営業を推進し、生産性の向上とコスト低減により収益の改善に努めてまいりました。

売上の部門別では、一般商業印刷物は、社内報・会報などが前中間期を下回ったものの、カタログやダイレクトメールなどが前中間期を上回り46億59百万円（前年同期比3.4%増）、出版印刷物は取扱説明書などが前中間期を上回り8億42百万円（同6.6%増）、包装印刷物はパッケージなどが前中間期を上回り9億99百万円（同38.9%増）となりました。

以上の結果、売上高は65億1百万円（前年同期比8.0%増）、営業損失は88百万円（前年同期は営業損失2億29百万円）、経常損失は43百万円（前年同期は経常損失1億98百万円）、四半期純損失は81百万円（前年同期は四半期純損失1億76百万円）となりました。

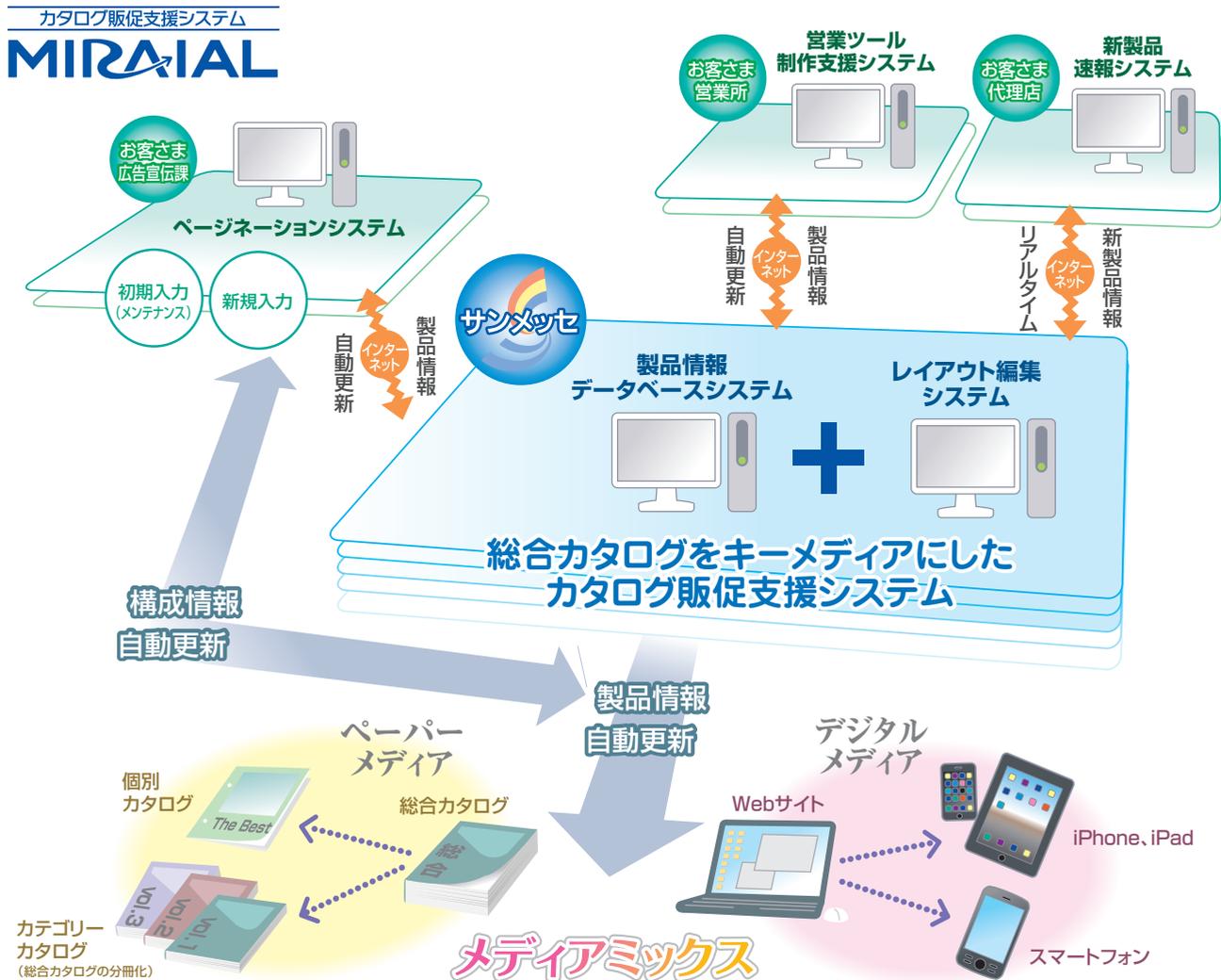
なお、当中間期の配当金につきましては、11月4日開催の取締役会におきまして、1株当たり3円と決めさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※「中間（期）」は「（第2）四半期」と表記されることになっておりますが、「中間（期）」と表記しております。（以下同）

## ●カタログ販促支援システム MIRAIAL (ミライアル) 独自開発

当社が独自に開発したカタログ販促支援システムMIRAIAL。製品情報をテキスト、図表、画像のほか、これらをレイアウトした状態でデータベース化できます。ページによってデザインが異なる非定型の総合カタログでも自動編集することができます。また、個別カタログやカテゴリカタログなどペーパーメディアにとどまらず、Webサイトやモバイル、DVDなどデジタルメディアへも、効率的、効果的なメディアミックスを実現します。



## ●導電性インキを使った実験教材「パッチンLED」

当社は、管理開発部が取り組むICタグの研究で使用されている「導電性インキ」の特性に着目し、岐阜大学工学部との共同企画で、小学生が楽しく学べる理科教材を製作いたしました。名称を「パッチンLED」といい、パーツごとに切り取ってホックでつなぐとさまざまな形状の電気回路を作ることができるというものです。電池と複数のLEDを自由につなぐことで、直列つなぎと並列つなぎなどの違いなどを自由な方法でみつけることができます。今回、地元小学校の理科実験でこの「パッチンLED」を使った特別授業を行い、好評であったとともに改善点も発見できました。

当社は、これを製品開発のきっかけとして今後さまざまな展開をしていくとともに、機能的印刷物を駆使した製品に挑戦していきます。

※「パッチンLED」は、実用新案登録出願中。



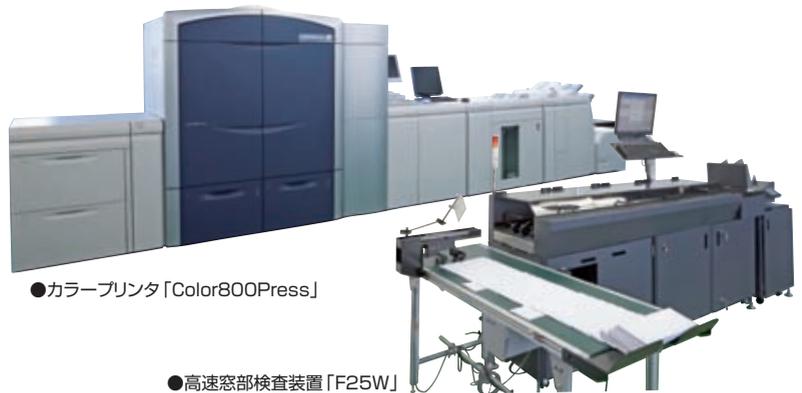
「パッチンLED」を使った特別授業の様子

楽しみながら  
学べる  
実験教材



## ●IPSルームを拡張

現在のIPSルーム（セキュリティ性の高い作業を行う専用ルーム）は、本社4階の一部を静脈認証システムにより隔離し、印字、封入等を行っています。今回、手狭になった手作業や仕分け作業エリアを確保するため、IPSルームを拡張し、ナンバー認証にて入室できる部屋を設置いたしました。これにより、既存のIPSルームエリアに余裕ができ、新しく用紙冷却機構を搭載し、表裏の見当制度が高いカラープリンタ「Color800Press」と高速窓部検査装置「F25W」を導入し、さらに精度が高く、短納期にも対応できる体制が整いました。



●カラープリンタ「Color800Press」

●高速窓部検査装置「F25W」

## ●天皇賜杯 第65回 全日本軟式野球大会 出場

7月に行われた天皇賜杯第65回全日本軟式野球岐阜県大会で、当社野球部が初優勝し、全国大会への進出を決めました。昨年の国体に続き、2年連続での全国大会出場となり、国体5位の順位を1つでも上回るよう大会に臨みましたが惜しくも2回戦敗退となりました。



貸借対照表

科 目	第66期中間期	第65期期末
	(平成22年9月30日現在)	(平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>4,957</b>	<b>5,082</b>
現金及び預金	1,288	919
受取手形及び売掛金	2,945	3,525
有価証券	100	—
たな卸資産	487	432
繰延税金資産	145	132
その他	64	158
貸倒引当金	△73	△84
<b>固定資産</b>	<b>12,074</b>	<b>12,674</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>9,068</b>	<b>9,379</b>
建物	2,279	2,345
機械及び装置	2,664	2,896
土地	3,832	3,832
その他	291	303
<b>無形固定資産</b>	<b>66</b>	<b>76</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,940</b>	<b>3,218</b>
投資有価証券	1,998	2,249
繰延税金資産	726	759
その他	290	451
貸倒引当金	△74	△241
<b>資産合計</b>	<b>17,032</b>	<b>17,756</b>

(単位/百万円)

科 目	第66期中間期	第65期期末
	(平成22年9月30日現在)	(平成22年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,788</b>	<b>5,004</b>
支払手形及び買掛金	1,548	1,743
短期借入金	2,230	2,260
1年内返済予定の長期借入金	99	149
未払法人税等	15	16
賞与引当金	236	188
その他	658	646
<b>固定負債</b>	<b>2,224</b>	<b>2,531</b>
長期借入金	12	87
退職給付引当金	1,776	2,022
役員退職慰労引当金	279	272
その他	156	148
<b>負債合計</b>	<b>7,013</b>	<b>7,535</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>9,846</b>	<b>9,979</b>
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	7,965	8,098
自己株式	△405	△405
<b>評価・換算差額等</b>	<b>172</b>	<b>241</b>
<b>純資産合計</b>	<b>10,018</b>	<b>10,220</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>17,032</b>	<b>17,756</b>

損益計算書

(単位/百万円)

科 目	第66期中間期	第65期中間期
	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	(平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売 上 高	6,501	6,018
売 上 原 価	5,424	5,095
売 上 総 利 益	1,077	922
販売費及び一般管理費	1,166	1,151
営 業 利 益	△ 88	△ 229
営 業 外 収 益	78	68
営 業 外 費 用	33	37
経 常 利 益	△ 43	△ 198
特 別 利 益	186	56
特 別 損 失	157	93
税引前中間純利益	△ 14	△ 235
法人税、住民税及び事業税	5	5
法人税等調整額	61	△ 64
中 間 純 利 益	△ 81	△ 176

キャッシュ・フロー計算書

(単位/百万円)

科 目	第66期中間期	第65期中間期
	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	(平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	704	594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	△ 32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 242	82
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	369	644
現金及び現金同等物の期首残高	869	1,242
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,238	1,887

株主資本等変動計算書

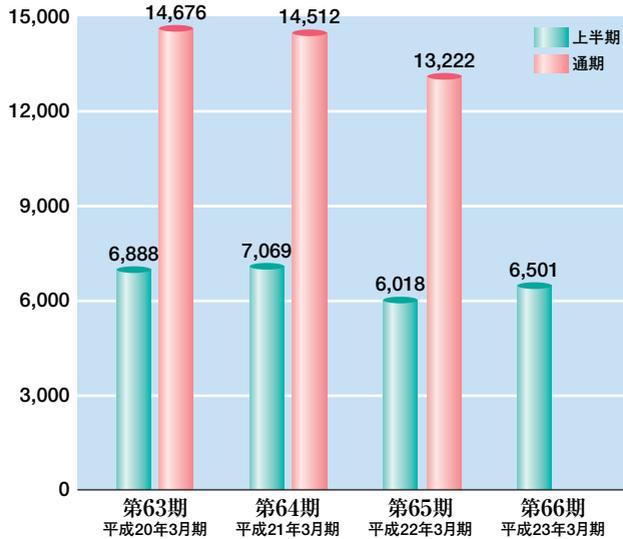
(単位/百万円)

	第66期中間期 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)						第65期中間期 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)							
	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
前 期 末 残 高	1,236	1,049	8,098	△ 405	9,979	241	10,220	1,236	1,049	8,317	△ 405	10,198	196	10,394
中 間 期 中 の 変 動 額														
剰余金の配当			△ 51		△ 51		△ 51			△ 51		△ 51		△ 51
中間純利益			△ 81		△ 81		△ 81			△ 176		△ 176		△ 176
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0							
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)						△ 69	△ 69						65	65
中間期中の変動額合計	—	—	△ 133	△ 0	△ 133	△ 69	△ 202	—	—	△ 228	—	△ 228	65	△ 163
中 間 期 末 残 高	1,236	1,049	7,965	△ 405	9,846	172	10,018	1,236	1,049	8,089	△ 405	9,969	261	10,231

# 業績の推移

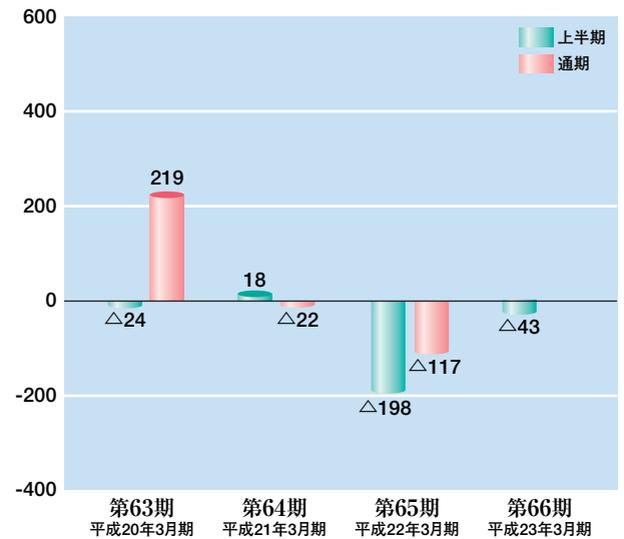
## 売上高

(単位/百万円)



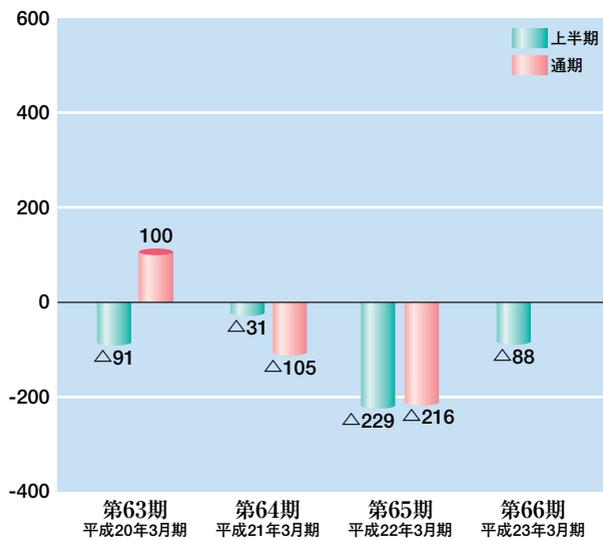
## 経常利益

(単位/百万円)



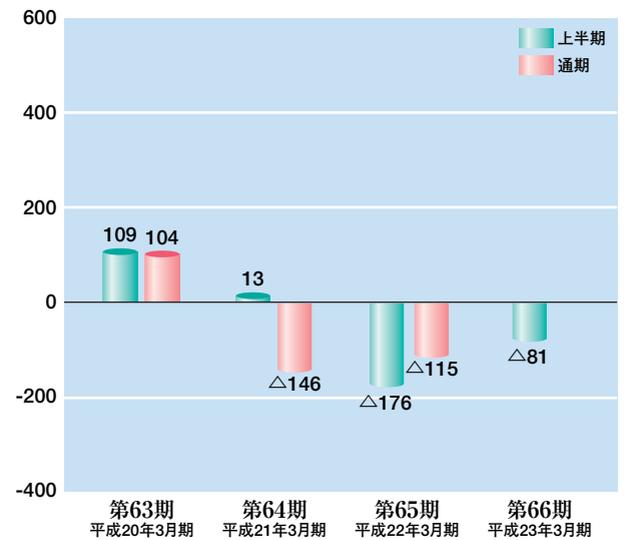
## 営業利益

(単位/百万円)



## 当期純利益

(単位/百万円)

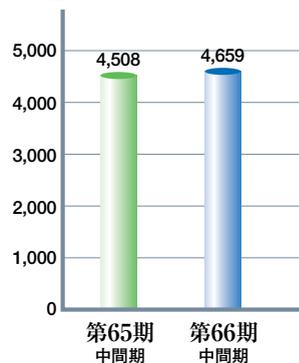


## 製品部門別の概況

### 商業印刷

商業印刷物では、企業の経費削減、広告宣伝費縮小が続き、社内報、会報などが減少しましたが、カタログ、ダイレクトメールなどは増加し、売上は前中間期を上回りました。

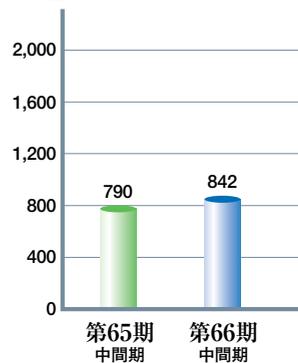
(単位/百万円)



### 出版印刷

出版印刷物では、印刷物から電子媒体への移行が進むなか、深耕営業を積極的に行った結果、取扱説明書などが増加し、売上は前中間期を上回りました。

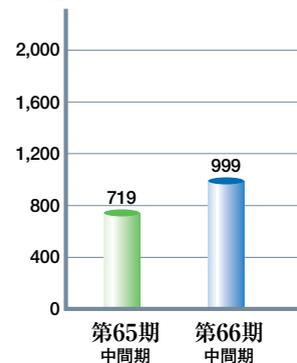
(単位/百万円)



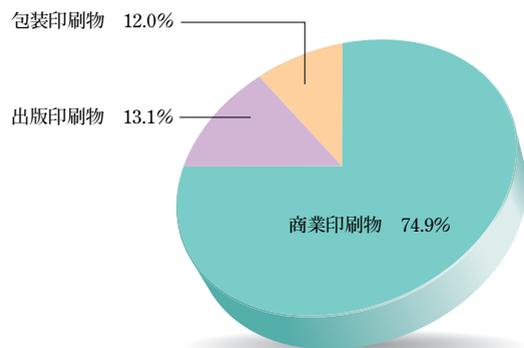
### 包装印刷

包装印刷物では、省包装化、省資源化が進むなか、新規顧客開拓に取り組んだ結果、パッケージなどが増加し、売上は前中間期を上回りました。

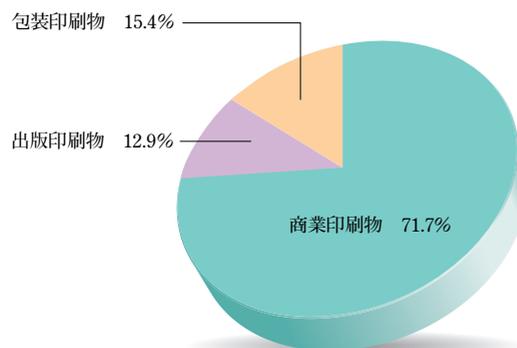
(単位/百万円)



### 売上高構成比



第65期中間期



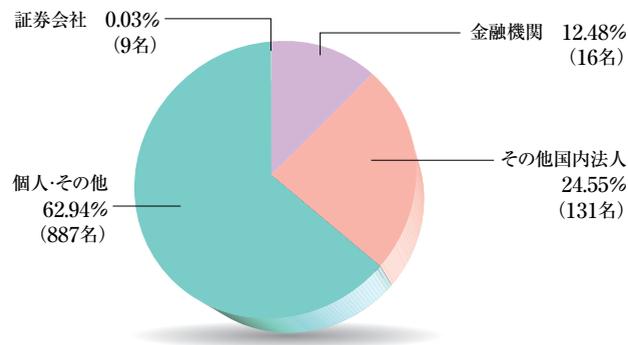
第66期中間期

## 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

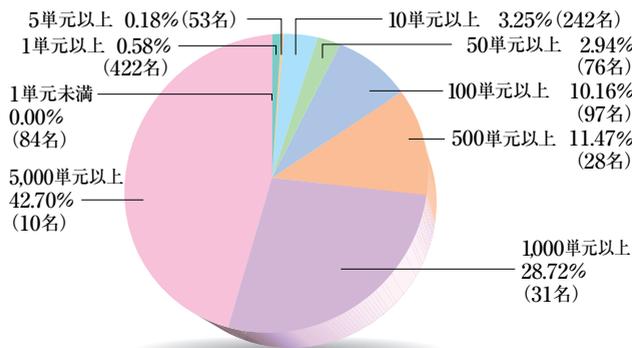
①発行可能株式総数	60,000,000株
②発行済株式の総数	17,825,050株
③株主数	1,043名

## 株式分布状況

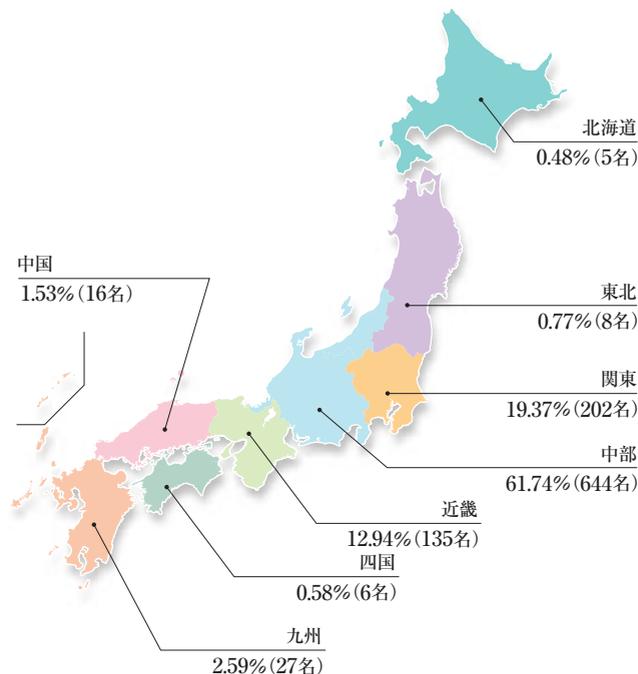
### 所有者別株式分布状況 (株式数比率)



### 所有数別株式分布状況 (株式数比率)

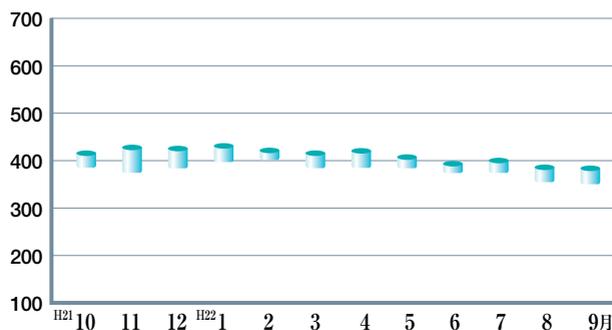


## 地域別株主数 (株主数比率)



(注) 比率は小数点以下第三位を四捨五入しております。

## 株価推移 (単位/円)



## 会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号	サンメッセ株式会社
設立	昭和21年9月20日
資本金	1,236,114千円
従業員数	751名(他社への出向者、嘱託、パートは含まれておりません)

## 主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。得意先の希望する印刷物の企画、デザイン、製版、印刷、製本、トムソン加工、製袋、表面加工等に至る設備を装備した一貫生産。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作、マルチメディア製品の企画開発。

## 役員

取締役会長	*田中良幸	
取締役副会長	*田中勝英	
取締役社長	*田中義一	
取締役	木村伸男	執行役員監査室長
取締役	松井巖	執行役員営業本部長 兼 公共営業部長
取締役	長井芳郎	執行役員営業副本部長 兼 名古屋営業部長
取締役	水谷和則	執行役員営業副本部長 兼 営業開発部長
取締役	田中尚一郎	執行役員営業副本部長 兼 関東統括部長
取締役	今井稔	執行役員購買本部長
取締役	竹林啓路	執行役員製造本部長
常勤監査役	長屋英機	
監査役	吉野銃城	
監査役	藤塚清治	税理士
監査役	加藤文夫	税理士
監査役	伊藤暁	

※は、代表取締役であります。

## 本社および事業所

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店	東京支店(東京都江東区) 大阪支店(大阪市中央区) 名古屋支店(名古屋市中区) 岡崎支店(愛知県岡崎市) 愛岐支店(愛知県一宮市) 岐阜支店(岐阜県岐阜市) 三重支店(三重県桑名市) 滋賀支店(滋賀県彦根市)
営業所	赤坂営業所(東京都港区) 京都営業所(京都市中京区)
研究所	サンメッセ情報館(岐阜県大垣市)
工場	本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
系列会社	日本イベント企画株式会社(岐阜県岐阜市)

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス <a href="http://www.sunmesse.co.jp/">http://www.sunmesse.co.jp/</a>
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

(お知らせ)

### ■株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手續(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

### ■配当金のお受け取り方法について

株券電子化により、従来の配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りが可能となりました。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

### ■未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である上記の中央三井信託銀行にお問い合わせ下さい。

# the beginning (原点)

当社は、平成22年度の会社方針を「原点回帰の年」としております。

## ●ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧ください。IR情報(投資家様向け情報)にも、ダイレクトでアクセスできますので、こちらもどうぞご利用下さい。

サンメッセ・ホームページアドレス  
<http://www.sunmesse.co.jp/>

### トップページ

<http://www.sunmesse.co.jp/>



### IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/index.html>



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

## サンメッセ株式会社



JQA-EM 1779  
本社・本社工場  
中工場・西工場



JQA-QM3742  
本社工場  
中工場・西工場



19000127(04)  
JISQ15001:2006準拠



環境にやさしい水なし平版  
印刷を採用しています。